



AIと新しい学び

最近、ChatGPTなどのAI関連のキーワードをよく聞きます。AIが普及すると生活のスタイルが変わり、生活が便利になると言われます。しかし、便利になる一方で、AIが仕事を奪うのではないかと危惧されています。便利さと生活は紙一重ということですね。

ドラえもんに出てくるのび太くんだったら、自分が楽をすることにAIを利用するでしょうね。そして、最初はいい感じに使っていても、調子によって欲を出し、最後は痛い目を見るというパターンでしょうか。

ちなみにChatGPTのベースとなるOpenAIの規約では13歳未満は使用できず、18歳未満は保護者の許可が必要となっています。やっぱり、宿題や論文、作文をAIに解かせようとする人がでて来るからでしょうか？

みなさんがのび太くんのような行動を取るとは思いませんが、やっぱり中にはそういう人もいるでしょうね。文部科学省ではAIの取り扱いについてのガイドラインを現在、策定中らしいです。鳥取県は文部科学省のガイドラインに従うことになるので、それまでは使えないと思っておいてください。宿題を解かせようと思っていた人は残念でした。

AIによって世の中が変わると、よく言われます。これは学習のスタイルが大きく変化するということも言えるのではないのでしょうか？教科書や参考書に書いてある内容や公式を覚えて、テストでよい点を取るという学習スタイルはすでに古いものになったのかもしれませんが。みなさんが大人になり、皆さんの子供の世代ではおそらく今とは全然違う学習のスタイルになっていることでしょう。私は団塊ジュニア世代と呼ばれる世代で、子供の数も多く、受験生の数もべらぼうに多い時代でした。私自身は大して勉強はしていませんでしたが、人並みに勉強をして、覚え、テストで点数を取るというありきたりの学習スタイルだったように思います。

でも、今はそういう時代ではありません。みなさんはすでにYouTubeなどの動画を参考に勉強したり、ICT機器をつかって友達と連絡を取り合って勉強する時代です。

これからのAIの時代は知識を覚えることよりも、もっと大事なことがあるかもしれません。リアルな人とのコミュニケーションもそのひとつかもしれないし、新しい発想なんかも大事でしょう。みんなが大人になるころにはAIとうまく共存して仕事をしているのではないかと考えています。

…と、ここまでAIのことを書いてみましたが、宿題に追われるのび太がドラえもんを頼るように、ChatGPTのプロンプトに『AIに関する文章を高校生向けの視点で書いてください(実際はもうちょっと詳しく書いた)』と書いてみたところ、なかなかの文章を作ってくれました。鳥取県知事が仕事にAIを使うのを禁止しているので、その文章を載せることはしませんが、AIによる文章もある程度は使えるかなという印象を持ちました。しかし、AIに仕事を奪われないようにしないといけないので、最後まで文章をちゃんとじーみーちー(地道)に書いてみました。

おわり



- 【行事予定】 5月22日(月)～25(木)：40分×6限
23日(火)：尿検査(未提出者対象、最終)
24日(水)：内科検診(3年)、第3回SPI小テスト(英語)
25日(木)：開校記念日、歯科検診(2年)
26日(金)：40分×3限+壮行会
27日(土)～29日(月)：県高校総体

